

科学

リサーチフロント

今月は 植物ホルモン



植物ホルモンの研究に力を入れているのは、農学や生命科学の分野で、その中でも植物ホルモンの研究は、近年特に盛況を博している。植物ホルモンの研究は、農業生産の向上や環境問題の解決に大きく貢献している。

植物ホルモンの研究は、近年特に盛況を博している。植物ホルモンの研究は、農業生産の向上や環境問題の解決に大きく貢献している。

植物ホルモンの研究は、近年特に盛況を博している。植物ホルモンの研究は、農業生産の向上や環境問題の解決に大きく貢献している。

植物ホルモンの研究は、近年特に盛況を博している。植物ホルモンの研究は、農業生産の向上や環境問題の解決に大きく貢献している。

植物ホルモンの研究は、近年特に盛況を博している。植物ホルモンの研究は、農業生産の向上や環境問題の解決に大きく貢献している。

微量物質で巧妙な生き方

植物の成長を支えるホルモン

種類	機能の例
アブシジン酸	乾燥に耐える
エチレン	果実の成熟
オーキシジン	茎や根の伸長
サイトカイニン	芽の成長促進
ジベレリン	茎の伸長促進
サリチル酸	病害に耐える
ジャスモン酸	病害に耐える
ストリコラクトン	根の成長抑制
ブラスチン/ブラスチン	葉の成長促進
フロリジン	花芽をつくる

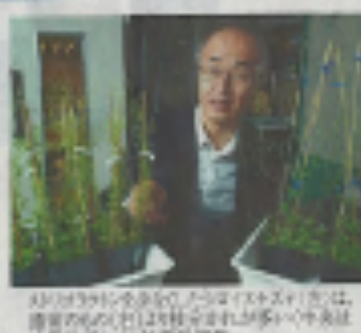


制御担う 農作物への応用期待

植物ホルモンの研究は、近年特に盛況を博している。植物ホルモンの研究は、農業生産の向上や環境問題の解決に大きく貢献している。

植物ホルモンの研究は、近年特に盛況を博している。植物ホルモンの研究は、農業生産の向上や環境問題の解決に大きく貢献している。

植物ホルモンの研究は、近年特に盛況を博している。植物ホルモンの研究は、農業生産の向上や環境問題の解決に大きく貢献している。



植物ホルモンの研究に力を入れているのは、農学や生命科学の分野で、その中でも植物ホルモンの研究は、近年特に盛況を博している。

国際デーで催し

植物は、衣食住をはじめ私たちの生活に深く関わっています。5月18日は「国際植物の日」。その前後に各地で開催される国際イベントは、植物科学の大切さや面白さを知りたい機会になるかもしれません。18日のリサーチフロントでは、「夜間ホルモンの研究」について、比叡之・植物学専攻大准教授に話を聞きました。（坂本貴子）

植物ホルモンの研究は、近年特に盛況を博している。植物ホルモンの研究は、農業生産の向上や環境問題の解決に大きく貢献している。

植物ホルモンの研究は、近年特に盛況を博している。植物ホルモンの研究は、農業生産の向上や環境問題の解決に大きく貢献している。

精製・解析の技術リードする日本

植物ホルモンの研究は日本が強い領域だ。東クワリバイオ・アソシエイツ（旧トムソンロイター）社の「論文が引用される頻度の高い研究家」のリストには、毎年多くの日本人が並び、同社のデータを基にした文庫科学者科学技術・学術政策研究所の分析によると、特にアブシジン酸やフロリジンの研究で世界をリードしてきた。日本人が特長や特許の蓄積などに貢献したホルモンは数多く、国際センターでは「日本は世界の植物を精製して解析する技術にだけいてる」と誇る。



植物ホルモンの研究は、近年特に盛況を博している。植物ホルモンの研究は、農業生産の向上や環境問題の解決に大きく貢献している。